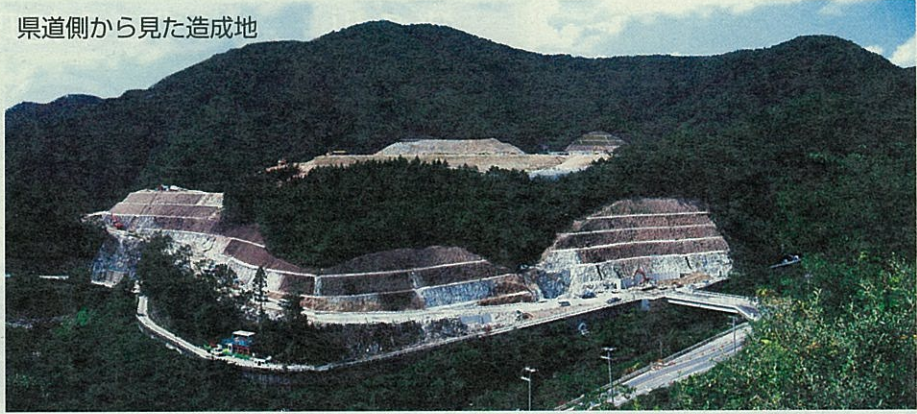


# 造成工事の状況は?

県道側から見た造成地



## 11月末に完了予定

土地造成工事は平成17年3月に契約し、同年6月より樹木の伐採、防災工事に着手しました。

そして、南側調整池部分の掘削が完了した本年3月20日より本格的な造成工事に着手し、3箇所の調整池については、5月下旬から7月中旬に完成しました。

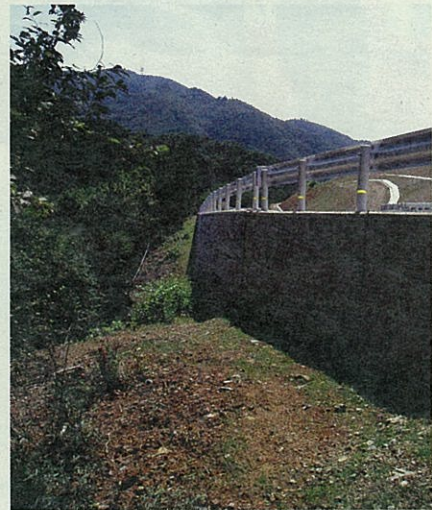
また、構内道路については、7月上旬に通行可能となり、工事用車両等がこの道路を利用できることから、工事進捗に大きく貢献しております。

本土造成工事の主要な部分である切盛り土工事は8月末に概ね完了し、施設建設部分の基盤が整いました。

現在、建物敷地の大型ブロック積擁壁、法面の種子吹付け、排水工を順次施工しており、11月末に造成工事完了を予定しています。



完成した北側の大型ブロック積み



完成した構内道路の側面

橋梁工事については、8月上旬に完成し、施設完成までの間は工事用車両の通行に利用します。

### 県道改良工事

県道野間出野一庫線において、新こうじ橋の隣接、約275mの区間において排水工、舗装工などの改良工事を平成19年1月末までの工期で実施しております。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 法面吹き付けの種子

土地造成工事の法面吹き付けの種子については、植物の専門家の意見を聞き、現地植生への遷移性が高く、花粉症などにも影響がないとされる種子を選定し施工しています。

### エドヒガン

桜のエドヒガンについては、土地造成工事で根株及び根廻し移植しているものを、造成区域内で植栽して行く予定です。

### 台場クヌギ

昔から人間の伐採等の営みにより二次的にできた台場クヌギが造成区域に1本あり、造成工事に影響がないことから現状のまま保存していきます。



吹付けした種子が生育している法面

## 各市町の状況

### 川西市北部・南部処理センターの状況

北部処理センターは稼働後21年、南部処理センターは27年経過して、両施設の老朽化が進んでおり、毎年、多額の補修費等をかけて維持管理を行っております。

又、プラント設備が20年前のものであり、最新の技術設備を備え環境に配慮した、新ごみ処理施設の早期完成を望んでおります。

### 猪名川クリーンセンターの状況

昭和62年に30t/日の焼却処理能力を有する現有施設が完成しました。当時としては、先端技術である高性能電気集塵器、有害ガス除去装置を設けるなど、環境対策に万全を期し衛生的かつ、効率的な施設運営をおこなってまいりました。

しかし、建設から19年を経過し施設の老朽化が進み、毎年多額の費用を持つて修繕工事を行い、延命を図っているところであり、猪名川上流広域ごみ処理施設の早期完成を望んでいるところであります。

### 豊能郡環境施設組合の状況

豊能町と能勢町は、豊能郡環境施設組合で共同でごみ処理を行っていましたが、ダイオキシン問題により平成11年に廃炉になりました。

現在は、粗大ごみやリサイクル施設は稼働しておりますが、可燃ごみの焼却については、大阪府内の近隣の市をはじめ川西市に依頼しており、一刻も早い新処理施設の完成を待ち望んでいます。

### 議会のよひす

#### ◆第2回定例会

平成18年8月21日

平成18年第2回猪名川上流広域ごみ処理施設組合定例会は、8月21日に開会し、同日閉会しました。議案等は次のとおりです。

#### 報告

- 平成17年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算の継続費繰越について
- 平成17年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合予算の事故繰越し繰越計算書の報告について

#### 認定

- 平成17年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合歳入歳出決算認定について(承認)

#### 議案

- 平成18年度猪名川上流広域ごみ処理施設組合補正予算(第1回)(原案可決)
- 【歳入歳出補正予算額317万円増額】

#### 同意案件

- 公平委員会委員の選任について(同意)

#### 【平田 啓二氏(能勢町)】

#### 請願

- 猪名川上流広域ごみ処理施設組合の濁水対策に関する請願書(不採択)